



《図書館がブースを確保》
■今年は、みなおそう! 『体の健康』『心の健康』をサブテーマとした今回の「まつり」に図書館が初参加し、図書館くらぶが、パネル四枚を担当し、ポスター三枚や健康・医療の書籍を展示しました。(写真上・九日設営中)

11日「読み聞かせコーナー」



《「明日の図書館」は、まちの保健室》
▼展示は、市民の健康増進・医療分野での中津川市図書館の大きな可能性を示しました。気軽に図書館で、健康情報を手に入れられるようになります。
《図書館は健康増進に直結》
▼ポスターに眼をとめた方が「図書館も病院も必要だね」と準備中のスタッフに声をかけていました。病気にならないための生活習慣、健康情報、医療情報を生かしてあなたの健康を増進させ、長生きしませんか?



講師の防災士 吉村輝雄さんと黒田ところさん

▼平成三年九月十一日(日) 9:30~15:00 東美濃ふれあいセンター
第二六回健康福祉まつりに
図書館が初めてブース確保!
▼ブースの右端に、「とよりの図書館」健康福祉本紹介コーナー
・図書館くらぶがパネル展示を担当。(写真は九日の設営風景)

「明日の図書館」は、まちの保健室です。
☆図書館は、あなたが健康で長生きできるための「医療・健康情報」「地方行政資料」を提供します。

《防災・減災ゼミ》

於中央公民館八月二十七日

■地震は必ず中津川を襲ってくるゾー!
▼会員十四名と市民二名の参加でした。

①防災問題の隅々まで研究を深めた、高い水準のセミナーでした。②市立図書館蔵書7冊と当時の写真を多数展示でき図書館の支援に感謝します。有難うございました。③大変わかりやすく地震のメカニズムから現在の取組の課題迄、あらためて防災、減災に取り組まなければ、被害者、加害者になることを痛感しました。

進展する館内展示

《今後の展示企画》

- 九月十七日（土）（桑澤芳江さん）
- ▽保健師さんが「健康相談」。
- 十月二十二日（土）
- ▽AEDの体験。（黒田ところさん）NPO団体のメンバーにも指導に来てもらう事を考慮。
- 十一月
- ▽中津川のお祭り紹介（筒井さん）
- 十二月
- ▽年賀状。（藤原さん）
- ・お正月の展示も。
- 一月
- ▽恵那文楽の展示と実演（図書館内）。（原哲子さん）
- 二月
- ▽酒蔵めぐり。中津川市内の酒蔵探訪。（筒井さん）
- ・はがきコンクール（原節子さん）
- 三月
- ▽中津川の和菓子（紀平さん）

《図書館展示の魅力》

▽膨大な蔵書をきらりと光る切の口で照らし出し、ホッと「情報源」を並べて見せます。勿論貸出OKです。

▽ハッとさせられる本に巡り会えるのが「図書館展示」の魅力です。あなたにピッタリの本を、展示の中から探しませんか？

▽展示は、商店街を始め他団体との協力・協働で、その魅力を更に上げます。展示企画案を御寄せ下さい。

《公民館図書室と中央館のパイプを豊かに》

■図書館のサービスは全市域を網羅します。図書館くらの組織も全市域を網羅したい

と願っております。

▼①各公民館図書室のある地域に会員が大勢誕生するよう努めます、②各地域の図書館関係ボランティアとの交流活動を進めます。

▼公民館図書室での展示作業は、会員の皆さんの協力が要です。ご支援をお願いします。



そうだ！図書館へ行こう

《次回の連絡会》

9月23日（金）13時半～
中央公民館 4の2会議室
▽レジメをメール送付済みです。
図書館内通信箱にも入れました。

《9月度図書館展示》

9月1日～29日

「あなたもいずれは通る道」 介護について 考えませんか！

・認知症とはどんな病気？
・「脳の不思議」な働きに迫る
本を用意してお待ちします。

※この展示はボランティア「図書館くらぶ」によるものです。

《参考文献》「中津川市地域保健医療計画：平成21年度～25年度。」中津川市H21年発行。96～97頁に「介護保険の状況」の統計を掲載しています。

図書館短信《図書館情報誌創刊準備中》

▼『市民の横の繋がりの深まりは、図書館くらの目的です。良い機会なので、図書館くらは、図書館情報誌の編集に参画致します。会員の中野さんに編集委員を担当していただき、市民の視点・目線からの情報誌になるよう力を発揮致します。』

▼図書館くらのスペースを確保し、市民の「図書館への窓」としたいと願っております。

▼「図書館情報誌」への、図書館利用者の声、ご近所の皆さんに取材した投稿などをお待ちいたします。

はがき コンクール

中津川市立図書館と
図書館くらぶが共催。

テーマ：「本にまつわる思い出」

応募先：中津川市図書館気付け図書館くらぶまで。

募集期間：本年11月1日～12月10日（当日消印有効）

▼ハガキ1枚で「本にまつわる思い出」を伝えてください。あなたのありったけの思いを詰め込みましょう。

◆内容は 感想文・短文・詩・絵・書などジャンル不問、画材は自由。あなたのユニークな新発想を期待します。